ハンドマイク街頭演説原稿例　日本国憲法生かした新しい政治を

二〇二四年五月二日　日本共産党埼玉県委員会・作成

※傍線部。使用日に応じて使い分けてください※

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　**きょう**５月３日は憲法記念の日、日本国憲法が施行されて七十七周年の記念日です。日本国憲法は前文で全世界の国民が平和のうちに生存する権利を持つと宣言し、戦争の放棄やさまざまな人権を書き込んだ、今から見ても進歩的な内容を持つ憲法です。日本共産党は戦前から活動してきましたが、戦前の日本共産党が掲げた要求は、「国民が主人公」の政治・社会の実現、国民の権利を守ること、侵略戦争をやめることなどでした。そうした歴史を持つ日本共産党は、日本国憲法のすべての条項を守り、特に平和的民主的な条項の完全な実施をめざして、引き続き全力で頑張って参ります。日本共産党へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

　一方、岸田総理と自民党・公明党政権はどうでしょうか。日本国憲法の精神に反することばかりしています。安倍政権の時にゴリ押しした集団的自衛権の行使を認める閣議決定、国民多数の反対を押し切って強行した安保法制＝戦争法のもと、日本を戦争する国に作り変える動きがどんどん進んでいます。他国の領内にある基地を攻撃する「敵基地攻撃」や、日本列島よりも長い距離を飛ばせるミサイルの配備など、自民党政府の総理大臣や閣僚が「それは憲法違反だ」と断言していたことまで、今の岸田政権はどんどんと押し進めています。ルールを守れない岸田自民党・公明党政権に、政権を担当する資格などないのではないでしょうか。

　「外国に攻められたら心配だ。軍備を強めるもの仕方ないのでは」とお思いの方もいらっしゃると思います。しかしみなさん、世界の歴史を見渡してみると、軍備を強めたことが逆に相手国の軍備増強を呼び込み、かえって深刻な戦争を呼び込んだ経験がたくさんあります。国同士のもめごとを戦争に発展させない、平和的な話し合い、外交で解決するというやり方こそ、戦争を防ぎ平和を守るいちばんの力になります。日本共産党の志位委員長は先日、外交問題について講演し、三つの提言を発表しました。東アジアでの平和の地域協力の枠組みを発展させる、北東アジアの諸問題の外交的解決をはかる、ガザ危機とウクライナ侵略は、国連憲章や国際法にもとづいて解決する、という内容です。日本共産党のホームページなどで見られますので、ご興味がある方はぜひご覧ください。

　日本共産党は党をつくって１０２年、反戦平和の立場をつらぬいてきた党として、日本国憲法を守りいかしていく立場で、これからも頑張って参ります。日本共産党へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

　自民党の裏金問題を最初に取り上げた、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）